

平成 24 年 9 月吉日



小郡三井医師会
会長 蒲池 壽先生

久留米認知症ネットワーク研究会

代表世話人 芹川 正樹

福岡県認知症医療センター 久留米大学病院

神経精神医学講座 内村 直尚

高次脳疾患研究所 森田喜一郎

(押印省略)

北筑後ブロックにおける認知症相談（連携）医の設立
及び認知症診療における診療情報提供書ご利用のお願い

謹啓

初秋の候、貴医師会の先生方におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて平成 21 年 12 月より久留米医師会精神科医会が中心となり、認知症の早期発見と治療・介護などを目的としたプライマリー医（認知症相談（連携）医）の養成及び、地域の医療・介護ならびに地域行政との連携を円滑に図れるよう久留米認知症ネットワーク研究会が発足いたしました。貴医師会におかれましても本研究会の趣旨にご賛同頂き、研究会へご参加戴ける先生のご推薦下さり深く感謝申し上げます。

昨年 11 月 15 日付けで、福岡県下で五つの認知症医療センターが認定され、北筑後ブロックでは久留米大学病院が認知症医療センターになりました。当センターとしましては、上述の久留米認知症ネットワーク研究会を利用してより効率よく認知症医療と介護事業の連携を図っていきたく存じます

今後北筑後地域におきましては、認知症医療センターを中心とした認知症専門医と認知症相談（連携）医の地域ネットワークの構築を目的に「認知症相談（連携）医システム」を設立することを考えています。この「認知症相談（連携）医」につきまして、まずは各医師会の先生方にご参加頂き、当センターとしましては認知症医療のスキルアップ研修会を毎年開催していくことを計画しています。またかかりつけ医と専門医との認知症診療地域連携を円滑にする目的で、別紙のように診療情報提供書とその返書を新たに作成しましたので、ご活用して頂けるよう何卒よろしくお願い申し上げます。

是非貴医師会におきましても、本趣旨にご理解とご協力を賜りたいと考えています。何卒ご高配賜りますよう宜しくお願い致します。

謹白

事務局

久留米認知症ネットワーク研究会

福岡県認知症医療センター 久留米大学病院

久留米大学医学部 神経精神医学講座

小路 純央

〒830-0011 福岡県久留米市旭町 6 7

TEL: 0942-31-7564 FAX: 0942-35-6041

小郡三井医師会より

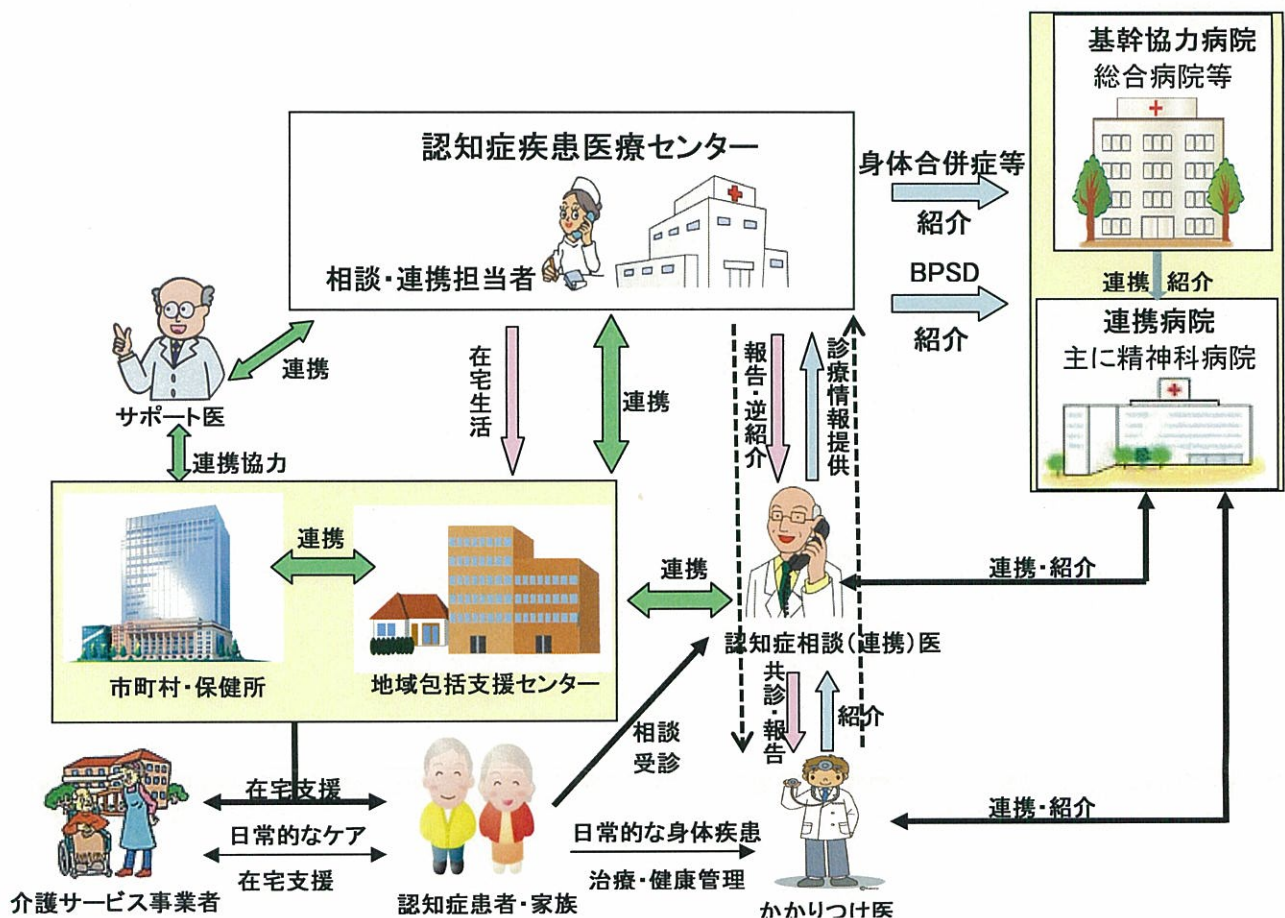
精神保健担当理事 古川哲也

会長 蒲池 壽

別紙アンケートへのご回答にご協力をお願いいたします。直接久留米認知症ネットワーク研究会事務局（久留米大学医学部神経精神医学講座）へご送付願います。

認知症相談（連携）医とは

認知症相談（連携）医とは、認知症についてプライマリーケアの視点から相談や診察と治療（介護を含む）を行える医師のことを指しています。もの忘れを主訴で受診された患者さん、あるいはすでに認知症と診断されている患者さんに対して、その臨床的な診断・介護の必要性などの情報を患者さんや家族に提供できる医師のことです。もちろん認知症専門医ではありませんので、認知症に関するすべてをカバーすることを求められるわけではありません。認知症専門医、認知症専門医療機関と緊密なネットワークを構築した上での認知症相談（連携）医とします。従って診断に苦慮する患者さんに関しては認知症専門医療機関との間で病診連携をとりながら、これまで通りの特に身体的治療などに関しましては継続してご加療いただく必要があります。そこで認知症に関しては認知症専門医療機関と、ケアについては地域行政（地域包括支援センター・保健所など）、各種福祉施設（デイサービス・グループホーム・小規模多機能施設など）との連携を取りながら長期のフォローに関しまして役割の継続に特別変わることはありません。



< 認知症相談（連携）医の主な役割 >

- ① 早期段階での発見
- ② 専門医への受診誘導
- ③ 認知症診療、
- ④ 身体健康管理
- ⑤ 生活に関するアドバイス
- ⑥ 家族・介護者への相談・支援
- ⑦ 介護・福祉各施設との連携 など

診療情報提供書(もの忘れ連携用)

記載日:平成 年 月 日

紹介先医療機関:

紹介元医療機関:

診療科:

診療科:

医師氏名:

医師氏名:

住所:

TEL/FAX:

フリガナ		生年月日	年 月 日 () 歳	性別
患者氏名				
電話	()	生活状況	☐ 一人暮らし ☐ 夫婦二人 ☐ 家族同居 ☐ 施設入所	
紹介目的	☐ 認知症精査・診断 ☐ 治療(中核症状・周辺症状・身体合併症) ☐ その他()			
現在治療中の病名	☐ 高血圧 ☐ 糖尿病 ☐ 脂質異常症 ☐ 心疾患() ☐ 脳血管障害 ☐ パーキンソン病 ☐ 甲状腺疾患 ☐ 胃切除 ☐ その他()			
治療経過				
現在の処方内容				
その他特記事項				

※現在の症状で当てはまる所にチェックをお願いいたします。(わかる範囲で結構です)

現症	☐ もの忘れ(年前より・ 月前より・ 最近) [HDS-R: 点、MMSE: 点] ☐ 見当識障害 ☐ 判断力低下 ☐ 周辺症状(BPSD)で困っている ☐ 徘徊 ☐ 暴言・暴行 ☐ 妄想() ☐ 幻覚(幻視・幻聴・その他) ☐ 介護への抵抗 ☐ 火の不始末 ☐ 不潔行為 ☐ 異食行動 ☐ 盗食 ☐ 性的逸脱行為 ☐ 睡眠障害(不眠・昼夜逆転) ☐ 食欲の低下 ☐ 意欲の低下 ☐ 抑うつ状態 ☐ 歩行障害 ☐ 嚥下
家族の とらえ方	☐ 認知症だと思っている ☐ 認知症かもしれないと思っている ☐ 認知症とは思っていない

血液検査データ	☐ 有(データ添付) ☐ 無
返信時の画像希望	☐ 必要 ☐ 不要
介護保険	☐ 有 ☐ 無 ☐ 申請中 (要支援1・要支援2)(要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5)

返書(もの忘れ連携用)

記載日:平成 年 月 日

紹介先医療機関

紹介元医療機関:

診療科:

診療科:

医師氏名:

医師氏名:

住所:

TEL/FAX:

フリガナ		生年月日	年 月 日 () 歳	性別
患者氏名				
診断	☐ アルツハイマー型認知症 ☐ 脳血管性認知症 ☐ 混合型認知症 ☐ 前頭側頭型認知症 ☐ レビー小体型認知症 ☐ 軽度認知障害 ☐ 加齢に伴うもの忘れ ☐ その他()と考えられます ☐ 診断保留			
検査所見	☐ HDS-R: /30 点 ☐ MMSE: /30 点 ☐ CDR(FAST): ☐ その他() ☐ 頭部CT ☐ 頭部MRI(VSRADを含む) ☐ SPECT <<画像所見>> <<神経学的所見>> <<その他>>			
今後の方針	☐ このまま貴院にて経過観察(ご加療)して下さい ☐ このまま貴院にて経過観察し、()後にまた受診を勧めて下さい ☐ 確定診断のため、当院にて精査します ☐ 当院で暫く診させていただきます(身体疾患については、貴院・当院でお願いします) ☐ 当院での入院(入院予約)加療としました。			
本人への 治療・指導	☐ 現在の治療で結構です ☐ 現在の治療から ()へ変更をお願いします ☐ 現在の治療から ()を追加してください ☐ 今回新たに ()を開始しています ☐ 心理教育・服薬指導を行いました ☐ 車の運転については(本人・家族)に適當ではない旨をお伝えしております。			
家族への 指導・介入				
その他 (特記事項)				

平成 24 年 9 月吉日

医師会会員の皆様

久留米認知症ネットワーク研究会

代表世話人 芹川 正樹

福岡県認知症医療センター 久留米大学病院

神経精神医学講座 内村 直尚

高次脳疾患研究所 森田喜一郎

(押印省略)

認知症診療・相談アンケートへのご協力をお願い

謹啓

時下、先生方に置かれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

近年高齢社会の到来が叫ばれて久しく久留米市も現在 65 歳以上の人口が 21 % を越える超高齢社会を迎えております。このような状況下、患者さんやその家族から認知症に関する相談を受ける機会が増加しており、また実際に認知症患者さんの診察に遭遇すること多いと思われます。しかしながら、患者さんやその家族から「どこを受診してよいかわからない、地域でどのような相談やサポートが受けられるかわからない。」などの相談も多いのが実情のようです。そのような観点から、既知の先生もいらっしゃるかと存じますが、久留米医師会精神科部会、久留米大学病院が中心となり、地域行政のご協力のもと、認知症の早期発見と認知症の治療や介護などを目的とした、プライマリーケア医(便宜的に認知症連携医と呼称します)の養成や医療 - 福祉 - 地域行政など地域連携を潤活かつ迅速に図れるよう久留米認知症ネットワーク研究会を発足し、活動しています。

今回はその活動の一つとして、医師会の先生方のご協力を仰ぎ、現在増加している認知症患者さんの受け皿となりうる施設や先生方のリストの作成と先生方への医療情報資源の共有化を考えております。つきましてはご多忙の折甚だ恐縮ですが、以下に記載致しますアンケートに是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

謹白

ご氏名：

病院名（ご施設名）：

入院病床： あり ・ なし

ご施設概要：

(1) 診療科目（該当するものに○、複数可）：

一般内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、血液内科、腎臓内科、内分泌代謝科、精神科、一般外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、歯科口腔外科、麻酔科、リハビリテーション科、その他（ ）

(2) 救急指定： あり ・ なし

(3) 通常診療受付時間：

(4) 休診日：

認知症に関することについてお尋ねします。

1. 認知症専門外来 ☐ なし
☐ あり 診療日 (月・火・水・木・金・土) 午前・午後・終日
予約 (必要・不要)
2. 認知症の診断 簡易診断: ☐ 行っている ☐ 行っていない 予約 (必要・不要)
専門診断: ☐ 行っている ☐ 行っていない 予約 (必要・不要)
診断可能な診療科名 ()
3. 貴施設における実施可能な検査・評価法
☐ 問診 ☐ HDS-R、MMSE 等 ☐ 心理検査
☐ 血液検査 ☐ 尿検査 ☐ 髄液検査 ☐ 胸部 X 線
☐ X 線 CT ☐ MRI ☐ PET ☐ SPECT
☐ 心臓交感神経検査 (MIBG 心筋シンチグラフィー等) ☐ 心電図
☐ 脳波 ☐ PSG (終夜睡眠ポリグラフィー)
☐ 神経学的診察 ☐ その他 ()
4. 認知症の相談対応 ☐ なし ☐ あり ☐ 内容による ()
予約 (必要・不要)
5. 認知症の受診対応 ☐ なし ☐ あり ☐ 内容による ()
☐ 軽度 ☐ 中等度 ☐ 高度
予約 (必要・不要)
- 周辺症状 (BPSD) の受診対応
☐ なし ☐ あり ☐ 内容による ()
6. 認知症の治療目的での入院受諾
☐ なし ☐ あり ☐ 内容による ()
- 周辺症状 (BPSD) が強い場合
☐ なし ☐ あり ☐ 内容による ()
7. 内科的合併症治療のための入院の可否・程度
☐ なし ☐ あり ☐ 内容による ()
☐ 軽度 ☐ 中等度 ☐ 高度
(軽症: 認知性老人自立度Ⅱ程度、中等症: Ⅲ程度、重症: ⅣまたはM)
入院期間: ☐ 短期 (1ヵ月以内) ☐ 長期 (1ヵ月以上) ☐ 内容による
8. 外科的合併症治療のための入院の可否・程度
☐ なし ☐ あり ☐ 内容による ()
☐ 軽度 ☐ 中等度 ☐ 高度
(軽症: 認知性老人自立度Ⅱ程度、中等症: Ⅲ程度、重症: ⅣまたはM)
9. 貴施設における医療従事者について
☐ 医師 ☐ 看護師 ☐ 保健師 ☐ ケアマネ
☐ 精神保健福祉士 (PSW) ☐ 社会福祉士 (MSW) ☐ 栄養士
☐ 臨床心理士 ☐ 言語聴覚士 ☐ 理学療法士 ☐ 作業療法士
以上、ご協力誠にありがとうございました。

認知症相談（連携）医の設立について

諾 ・ 否

診療情報提供書・返書のご使用について

諾 ・ 否

認知症診療・相談アンケートのご協力について

諾 ・ 否

貴医師会名：_____

御担当者・御氏名：_____

御担当者・御施設名：_____

御連絡先：_____

送信先：

福岡県認知症医療センター久留米大学病院

久留米認知症ネットワーク研究会事務局

久留米大学医学部 神経精神医学講座 小路 純央宛

福岡県久留米市旭町6-7

TEL: 0942-31-7564 FAX: 0942-35-6041

福岡県認知症医療センター 第2回研修会

謹啓

初秋の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より福岡県下における高齢者支援ならびに認知症連携など数多くの御厚誼賜り誠にありがとうございます。

さて、福岡県認知症医療センター主催の第2回(全体)研修会を下記のとおり開催いたします。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、万障お繰り合わせの上ご出席くださいますよう、お願い申し上げます。

謹白

記

日 時:平成 24 年 10 月 17 日(水) 19 時 00 分～

場 所:福岡県医師会館 大ホール

福岡県福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号 TEL: 092-431-4564

1 事例報告 19 時 00 分～19 時 30 分

【座長】久留米大学 高次脳疾患研究所 教授 森田喜一郎先生

【演者】福岡県認知症医療センター 宗像病院 PSW 矢山 隆行先生

「単身認知症患者支援の一例」

2 特別講演 19 時 30 分～

【座長】久留米大学医学部 神経精神医学講座 教授 内村 直尚 先生

【講師】

福岡市医師会 常任理事 田中 三津子 先生

『福岡市における認知症地域連携について』

※ 日本医師会生涯教育講座1.5単位(予定)

※ カリキュラムコード ・13(地域医療)・14(医療と福祉の連携)・29(認知脳の障害)

主催 福岡県認知症医療センター 久留米大学病院、宗像病院、見立病院、牧病院
国立病院機構大牟田病院、

共催 福岡県医師会、福岡県